

Q 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をただすことができます。

表 紙 は 語 る

新島港 B 堤漁協内における水揚げされた魚介類の仕分けの様態。この日前浜沖の定置網に入ったのは、カンパチ、鯛、石垣鯛、アジ、サバなど。

地元の商店主、寿司屋の主人、水産加工業者らが目当ての新鮮な魚を求めて鵜の目鷹の目。
さて納得、満足の仕入れとなったか、早起きは三文の得とは昔から言われているが……。

山本均議員



若郷・渡浮根港への臨時バスの運行に問題はないか？

若郷・渡浮根港へ高速船が接岸した際、村が臨時バスを運行する

件について、この4月、5月の運行実績とこれに関連してこれまでであったトラブル、問題点、改善すべき点などを教示願いたい。

答

4月の運行日数は11日間で、利用者数は262人で1回平均12人となっている。5月は同じく7日間、201人、14人の順となる。

これまでトラブル、問題点等の報告は受けてないが、発生した場合には関係者と協議して対応していく。



大津波報道後の新島村の夏の観光はどうなるのか？

問

3月31日に国の中央防災会議の結果が公表され南海トラフの巨大地震が発生した場合、新島には29メートルの大津波が押し寄せると推計された。

直後、宿泊予約のキャンセルが相次いだというが、観光を将来に希望の持てる姿に変貌を遂げるにはどうしたらいいのか？

答

様々なイベントの誘致や開催、新島・式根島のPR活動を実績のあるやり方、新規の方法を織り混ぜ行なっていく。多くの観光地の中からお客様に選択していただけるようもてなしサービスを提供することが最も大切だと思う。

大津波に対する村の防災対策はいかに？

問

3月31日の国の中央防災会議では南海トラフに起因する最大級の地震が発生した場合、新島には30メートル近い津波が押し寄せるとされた。

この新たな発表を受けて村はどのような方針を掲げ、対策を講じるのか、教示願いたい。

答

「いつかは来る」と想定した防災対策を東京都の協力を得て村は進めていく。まず住民の避難



方法等、ハザードマップの作製、防災計画の見直しを早期に進めていくので協力をお願いしたい。

この夏の節電対策ほか

問

村は電力の大口需要者で4月に契約の改定があったが、どのくらい料金増となるのか？これに対する防対策とこの夏の節電対策を併せて教示願いたい。

また村は今後、自然エネルギーを取り入れる用意があるのか、現時点での考え方を明らかにしていただきたい。

答

村の19施設あわせて年間増加額、約460万円となる。役場庁舎等は夏服の着用を前後一カ月延長しクールビズを行い、その他の施設でも独自

に節電対策を行うよう通達を出す。

自然エネルギーの実用化には莫大な費用がかかるため村が独自で即、着手することはない。

